



日頃、地域医療連携室にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
 オープンベッドの回診に同伴させていただくと、患者さんの満面の笑顔とその笑顔を楽しむ医師や看護師の姿に、心があたたくくなります。
 今年度も、地域完結型医療を推進する「オープンベッド」の円滑な運用に向け、共同利用施設運営委員会が行われましたので、その一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

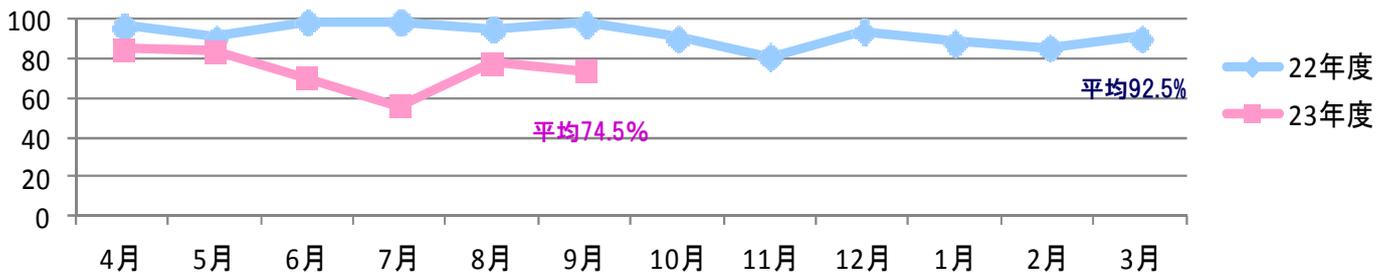
発行日 平成 23年 12月 第 46号

共同利用施設運営委員会

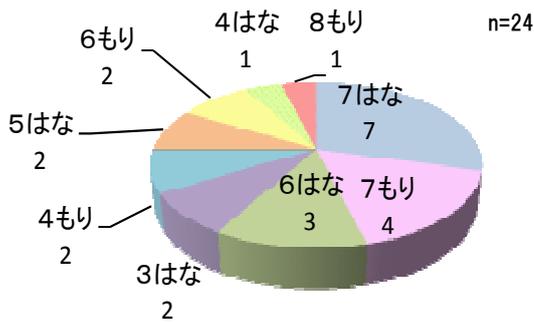
H23年11月29日、平成23年度共同利用施設運営委員会が開催されました。

今年度（上期）は、紹介患者さんの入院件数の減少に伴い、オープンベッドの利用率が、92.5%から74.5%へ低下しました。委員会では、外部委員から「感染症の急性期の数日だけ診てほしい」「もう少し自由に使えるようなシステムになると利用が増えると思う」等の要望のほか、より活発な利用に向け、「医師会として、オープンベッドのメリットをもっとPRする」と力強いご意見をいただきました。今後も、運用上の課題を解決し、多くの地域医療機関にご利用していただけるよう、検討していきたいと思っております。

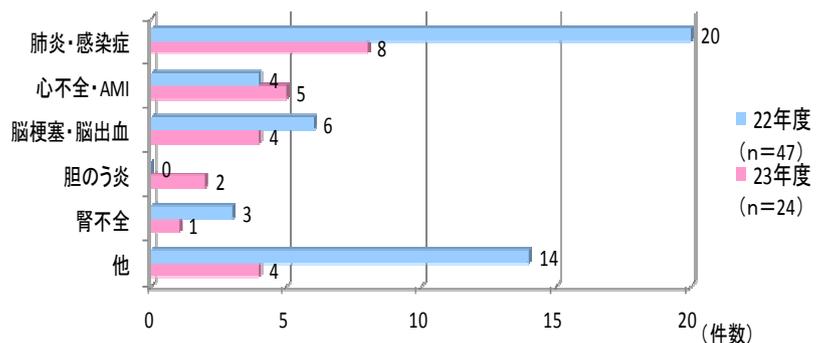
1. オープンベッドの稼働率の推移



2. 申し込み回数（病棟別）… H23年度

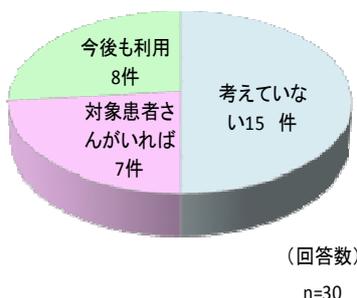


3. 申し込み回数（疾患別）… H22・23年度



4. オープンベッドに関する地域医療機関のアンケート結果（一部抜粋）… H23年10月

共同利用病棟の今後の利用について



共同利用病棟を利用する際、躊躇すること

